

NITS弘前大学センター 公開セミナー

最新の教育課題を幅広く扱い、専門の方々からお話を伺います。

すべてオンライン開催で、県外の方も参加可能です。

(第4回のみ、弘前大学教育学部2階大教室にて、対面・オンラインのハイフレックス開催となります。)

同一日に2つの回を設定しました。

申込フォームからご参加登録していただくことで好きな回に参加できます。

第1回 2026年 2月 7日 (土) **オンラインのみ**
13:00~14:40

生成AIと創る、これからの授業デザイン
~Gemini・NotebookLMで実現する学びの深化~

講師：井上 嘉名芽 氏 (東奥義塾高等学校)

生成AI(Gemini・NotebookLM)を活用した授業デザインの可能性を、実践的なハンズオンで体験します。教材作成や校務の効率化により生まれた時間を、児童生徒一人ひとりの思考を深め、探究を支援する豊かな学びの創出に還元します。教育に携わる皆さまが日々の実践に即座に取り入れられる、生成AIを「教師の相棒」として活かし、子どもたちの学びを深化させる方法を一緒に考えましょう。

第2回 2026年 2月 7日 (土) **オンラインのみ**
15:00~16:40

政治をいかに教えるか
~知識と行動をつなぐ主権者教育~

講師：蒔田 純 氏 (弘前大学)

18歳への選挙権年齢引き下げ以降、子供・若者に政治との関わり方を教える「主権者教育」が浸透しつつあります。しかし、若者の政治離れ、政治的無関心は改善の兆しを見せず、投票率は未だ低水準のままです。政治という、不可欠ですがセンシティブでもある問題をどのように教え、子供・若者の政治的意識をどのように高めていくか。この難しい課題について、国内外の事例や政治を取り巻く諸要素を踏まえながら、考えていきましょう。

第3回 2026年 2月 14日 (土) **オンラインのみ**
13:00~14:40

いま、高校入試を考え、議論するための視点

講師：次橋 秀樹 氏 (京都芸術大学)

日本の高校入試が大学入試ほどの大きな議論を呼びにくいことの一因は、調査書や学力検査の扱い方の相違に見られるような、地域や学校がもつ多様性にあると考えています。しかし、いま、社会や学校教育の変化のなかで、高校入試についても地域を超えた議論が求められているのではないのでしょうか。そこで、現状をしっかりとふまえつつ、資質・能力の3つの柱の評価のあり方や大学入試との関係性など、高校入試を広く冷静に考え、議論するための視点をお伝えできたらと思っています。

第4回 2026年 2月 14日 (土) **対面
オンライン
併用**
15:00~16:40

教育改革の中での授業の改善

講師：中野 博之 氏 (弘前大学)

授業の方法は、目的・目標、そして、参加している子どもの実態に応じて臨機応変に変えていくことが大切です。教師の深い教材への理解を基盤にして子どもが教科として価値のある活動に取り組めるようにしていくためには、教師は常に子どもの事実を収集して主体的に次の授業に向けて創意工夫をしていく必要があります。このような授業改善に向けた教師の主体的な姿が、子どもたちの主体的な学びをつくり出していくと確信しています。

申込方法 申込フォーム (右) よりご参加登録をお願いいたします。

申込期限 第1回・第2回：2026年2月2日 (月) ※100名に達し次第締め切ります
第3回・第4回：2026年2月9日 (月) ※100名に達し次第締め切ります

お問い合わせ先 NITS弘前大学センター事務局 古川

Tel : 0172-39-3333

Email : nits-hirosaki@hirosaki-u.ac.jp

